

## 第12回(令和元年) 定時社員総会

令和元年5月16日に学士会館にて、施工系会員意見交換会、理事・監事会、第12回定時社員総会が出席66社、委任状提出41社、総計107社で開催されました。

### 第12回定時社員総会

#### 《野崎正和代表理事 挨拶》



トンネル専門協創立18年目、一般社団法人になりまして12年目令和になって初めての定時社員総会です。令和では良い時代になってくれればと思います。

先月、働き方改革等について国土交通省の方と意見交換会を行いました。民間は稼働日数が23日/月の積算、1日10時間の積算ですが、そこに休日を105日取りなさい、時間外労働を減らしなさい、それをクリアしないと指導または是正勧告等がなされるという法律について、発注者から歩掛を変えてもらわないと難しいとの現状を報告しました。更に、国交省では1日8時間になっていますが、歩掛的には10時間の内容なので、再度見

直してほしいとお願いしました。今後も引き続き、工期的なこと、歩掛的なことに関する生の声を積極的に発注者に届けたいと思います。

また、肌落ち災害防止のガイドラインが出ましたが、実際には発注者に承認してもらえず自腹で対応していることも報告しました。皆様にアンケートを取り協力して頂きましたが、結果は半分以上が承認されていないという回答です。これも国交省の方に資料として提出致しました。4月1日から通達が出されていますが、現場ではまだ承認されていないことを我々は直接発注者に言えないため、元請けの現場代理人より発注者に対応してもらわなければならない事情について国交省に説明しました。

安全についても課題が多いです。火薬のノネル工法の遠隔操作で切羽から離れて行う装薬の施工方法も、導火線から電気雷管に変わっただけで、現状は100年たっても変わっていません。今、機械化施工ということでメーカーの方々に新しい物件を作ってもらっていますが、ヨーロッパに比べたらまだまだ遅れています。平成の時代はナトム工法が主流でしたが、新しい施工方法や安全で生産性が上がる施工方法というものを、今後、我々専門協として取り組んでかなければならないと強く思っております。

#### 《石田誠一副会長 閉会挨拶》

めまぐるしく過ぎ去った平成時代も終わりに来て、新しい令和という未知の時代が訪れました。平成の時代がそうでありました以上に令和も又、様々なことが平成以上のスピードでめまぐるしく移り変わっていくのは必至かと思えます。新しい時代の中で当協会のすべてにおいて、待たなしの対応に迫られる時代が訪れたことを強く感じますし、我々トンネル専門工事業協会も新たなスタートラインに立たされているのではないのでしょうか。安全の確保、働き方改革に伴って生じる諸問題等々を抱えている厳しい情勢の中にあって今後の会員間における情報の交換や、相互研鑽というものがこれからの我々にとって、重要な生き抜くヒントになっていくと確信しております。

### 表彰 (敬称略)

#### 1. 感謝状

7年もの長期にわたり当協会の監事を務められ、当協会の円滑な運営に寄与された土屋敏郎氏(藤友工業株)に感謝状と記念品が授与されました。

#### 2. 表彰状

当協会の推薦により国土交通大臣優秀施工者(建設マスター)、土地・建設産業局長青年優秀施工者(ジュニア建設マスター)及び厚生労働大臣安全優良職長顕彰を受けられた方4名に表彰状と記念品が授与されました。



(左より土屋氏、阿南氏、会長、山崎氏、西井氏、中村氏)

国土交通省 大臣官房 技術審議官 五道 仁実 様



国土交通省では働き方改革、生産性革命ということでアイコンストラクションを進めております。中でも週休二日工事ということで土・日閉所から始まり、交代制の試行工事を今年度より始めております。ただご指摘の通り、歩掛がしっかりそれに対応しているのか、また各発注者でそのような取り組みがなされているのかという問題があります。トンネルは専門的で特殊な工事の施工方法という中でどのような働き方、休み方をすればいいのかということについて更に意見交換を行っていききたいと思います。

もう一つは生産性改革ということで、新しい技術を導入し、安全で生産性が上がる工事を目指しております。その中で一昨年から新事業費導入経費や、内閣府の【PRISM】プリズムという予算を使って現場で試す計画をたてております。現場で試してみてもどのような効果があるのか、問題なく使っていけるのか、についても皆様方と意見交換を重ねながら、改善をしていきたいです。

社会資本整備に関して課題が多いですが、その中で強靱化の話、経済を支えるストック効果の話もあります。私共もしっかり予算を確保しながらこの社会資本整備を進めていきたいと思っております。

厚生労働省 労働基準局 安全衛生部 化学物質対策課 環境改善室長 安井 省侍郎 様



山岳トンネル切羽における肌落ち災害防止に関するガイドラインを作成しており、粉じんに関し第9次粉じん障害防止総合対策についても進めております。また、トンネルじん肺訴訟の関連で、切羽における作業間の粉じん測定、あるいは切羽におけるその他の改善について、協会の方にご参加頂いて検討しているところです。

また、トンネルに従事した方に関するデータベースを建災防に設置し、今年3月から稼働しています。過去のトンネルじん肺訴訟の関係もありますので、同じことを繰り返さないという意味でも積極的にデータの提供を是非お願いしたいと思います。

一般財団法人 建設業振興基金 専務理事 伊澤 透 様



貴協会はトンネル技能者の育成に積極的に取り組み、私どもが事務局を務めております登録基幹技能者推進協議会に、当初からご参加を頂き、優秀な登録基幹技能者の育成に大きく貢献をしてこられました。

また、私どもでは建設産業活性化助成事業を行っており、貴協会には昨年度トンネル施工機械管理マニュアルの作成、あるいは現場見学・研修会をはじめとする様々な研修にご利用頂いております。このようなことを通じてりっぱな熟練技能者の地位の向上、あるいは専門工事業の発展が図られているのではないかと考えております。

建設キャリアアップシステムについては、開発の途上でいろいろあり本運用が遅れましたが、4月から開始されました。ようやく事業者の方、それから技能者の方の登録もこのところハイペースで進むようになりました。このキャリアアップシステムをご利用いただき、優秀な専門工事業の企業の方、そこで働いている優秀な技能者の方が、施主から正当な評価される制度に育ていけるよう努力していきます。

合同現場安全パトロール

6月13日に北海道の音威子府村物満内(音中トンネル起点側)にて2019年度第1回合同現場安全パトロールが行われました。朝礼終了後、施工会社山崎建設(株)脇川所長に工事概要の説明をしていただき、引き続きパトロールを行いました。その後、現場事務所でモニターを使用しながらの解説を受け、安全書類等の点検を和賀部長、脇川所長とヒヤリングしながら実施しました。

工事概要

発注者：国土交通省北海道開発局旭川開発建設部  
 元 請：清水建設・伊藤組土建・岩倉建設(株)JV  
 施 工：山崎建設株式会社  
 工 期：H.30.9.4～H.32.3.29(6期)  
 延 長：4,686 m(起点側工事)



## 施工機械現場管理要員研修

7月27～28日に静岡県の新東名高速道路 湯船原トンネル工事にて2019年度トンネル施工機械現場管理要員研修が行われました。内容は、トンネル工事の主要機械である油圧ジャンボ、コンクリート吹付機、サイドダンプ式ホイールローダ、バックホウ、ブレーカ他について、管理の基本や怠ってはならない点検整備等について座学及び実機を前にした研修が行われました。

発注者：中日本高速道路(株) 東京支社（沼津工事事務所）  
 元請：西松建設(株) 所長 野中康治 様  
 施工：吉田西豊建設(株) 所長 立花克美 様  
 工期：2015年10月30日～2020年7月4日  
 場所：静岡県駿東郡小山町湯船～御殿場市神場  
 工事概要：トンネル延長上り線L=1,604m、下り線L=1,610m  
 掘削断面積 標準 86.7㎡ 最小 86.7㎡ 最大 113.1㎡  
 掘削方式 機械掘削、ズリ出し 10tダンプトラック



## 労務安全担当者研修会

労務安全衛生委員会では活動のテーマの一つとして、施工系会員各社の労務安全担当者を一堂に会し、労務安全管理の向上に資するための研修並びに各社で抱えている問題点解決の一助とすべく情報、意見交換会が7月18～19日に東京都港区で行われました。



### 《意見・情報交換会》

- 「情報・意見交換会で取り上げて貰いたいテーマ」
- 「年次有給休暇5日付与に関するアンケート調査結果」
- 「国土交通省との意見交換会開催報告」
- 「女性技能者の坑内労働規制緩和に関する検討報告書」

### 《講演・質疑応答》

- 【講演】「建設キャリアアップシステムの登録促進」について  
 講師：一般財団法人建設業振興基金 東 真生 様
- 【講演】隧道等建設労働者健康情報管理システム等について  
 講師：一般社団法人全国建設業協会 土屋 良直 様

## 登録トンネル基幹技能者講習

7月11～14日に富士教育訓練センターにて登録トンネル基幹技能者講習が開催されました。7月25日に行われた登録基幹技能者育成委員会（外部委員2名を含む）による審査の結果、20名の修了が承認されました。累計修了者は648名になりました。



氏名	所属組織名	修了証番号
岩本 真也	石田土木 幹	第061907-00629号
柴田 敬稔	石田土木 幹	第061907-00630号
蛭子 和英	幹金子組	第061907-00631号
横山 芳人	幹金子組	第061907-00632号
原 徳幸	幹児玉組	第061907-00633号
宮川 光弘	寿建設 幹	第061907-00634号
川真田 雅裕	笹島建設 幹	第061907-00635号
久保 友司	笹島建設 幹	第061907-00636号
黒崎 泰生	笹島建設 幹	第061907-00637号
丸山 誠	笹島建設 幹	第061907-00638号

氏名	所属組織名	修了証番号
小田原 祐仁	成豊建設 幹	第061907-00639号
金谷 一成	成豊建設 幹	第061907-00640号
木村 栄介	大建土木 幹	第061907-00641号
中津川 寿	幹トソー	第061907-00642号
南 健慈	北新建設 幹	第061907-00643号
大野 史一	村崎建設 幹	第061907-00644号
佐々木 義広	村崎建設 幹	第061907-00645号
内堀 収	吉田西豊建設 幹	第061907-00646号
岡田 雅彦	ワシオ工業 幹	第061907-00647号
森岡 誠	ワシオ工業 幹	第061907-00648号

# 会員トピックス

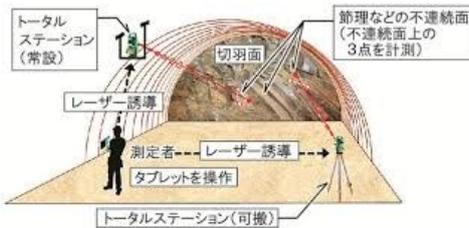
## ㈱流機エンジニアリング

㈱流機エンジニアリングの「超高清浄化とコンパクト化を実現した工業用集塵機(Iシリーズ)」が、日本産業機械工業会主催の第45回優秀環境装置表彰において、「経済産業省産業技術環境局長賞」を受賞されました。おめでとうございます。

(表彰を受ける西村章会長)



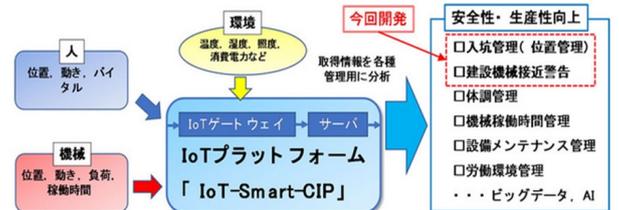
## マック㈱



マック㈱は2019年6月、鉄建建設と山岳トンネル工事で顕在化した節理や層理など不連続面において、地質の走行や傾斜の状況を自動でデータ取得し電子化する「走行・傾斜測定システム」を開発し、特許申請しました。これまでの測定方法では、測定者が素掘り状態の切羽に近づく必要があり岩盤崩落に巻き込まれる危険性がありましたが、このシステムでは、掘削面から10メートル程度離れた場所でも測定ができ、安全性が向上されます。今後は現場での実証実験後、実際の導入を予定しているようです。

## ㈱エム・シー・エス、マック㈱

㈱エム・シー・エス、マック㈱、飛鳥建設の3社により、山岳トンネル工事の現場管理の効率化を図るためのIoT(モノのインターネット)プラットフォームが開発されました。複数のシステムから取得するデータを連携させて現場管理に適用できる点が特徴です。初弾として、入坑管理システムと建設機械接近警告システムを構築し、実現場に適用されました。今後は体調管理など対象を広げていくことを目指し、本年度下半期には外販開始される予定とのこと。



## エフティーエス㈱



出典: 戸田建設

エフティーエス(株)は、建設会社5社と共同で、ICT制御システムによる山岳トンネルの自動吹付ロボットの開発に着手し、ミリ波レーダー技術による吹付面の出来形リアルタイム測定装置の開発、性能確認を行いました。リアルタイムで吹付壁面の出来形を遠隔モニターで確認できるため、切羽近傍での作業リスクを減らすことが可能です。また、得られるデジタルデータから吹付面とのノズル距離、角度を正確に制御できるためコンクリートの壁面付着率が向上します。今後、エレクトーン一体型コンクリート吹付ロボットの自動化技術の完成に向けて技術開発を進めるとともに、熟練技能者の吹付作業データを各社の多数の現場からデジタル値でクラウド収集し、最適吹付作業の分析と機械学習を行い、AI(人工知能)制御による自動吹付技術の確立を目指していくとのことです。

## 協会からのお知らせ

### 【今後の予定】

- |               |                               |
|---------------|-------------------------------|
| 2019/10/18~19 | 現場見学・研修会 (大野油坂道路 荒島トンネル工事)    |
| 2019/11/07~10 | 2019年度第2回登録トンネル基幹技能者講習 守山会場   |
| 2019/12/14    | 2019年度第3回登録トンネル基幹技能者更新講習 福岡会場 |
| 2020/01/30    | 新春セミナー、賀詞交歓会                  |
| 2020/02/上旬    | 海外視察研修会                       |

この会報に対するご意見・ご感想、又ご入会に関する詳しいお問合せは下記の事務局までお願いします。



一般社団法人 Association of Nihon Tunnel Construction Sub-contractors  
**日本トンネル専門工事業協会**

〒105-0003 東京都港区西新橋1-9-1 ブロードリー西新橋9階  
TEL:03-5251-4150 FAX:03-3591-3550 URL: http://www.tunnel.jp